

季節の行事に関するお願い

- ・ クリスマスや大晦日などの季節の行事においては、感染リスクが高まる場合が想定されるので次の事項に注意しましょう。
- ・ 季節の行事に参加する場合には、基本的な感染防止策を徹底しましょう。
- ・ 基本的な感染防止策が徹底されておらず、自然発生的に不特定多数の人が密集して大声などの発生を伴う行事やパーティーなどへの参加は控えましょう。
- ・ 主催者がいる場合には当該行事の主催または参加にあたり、適切な人と人との距離の確保、手指消毒、マスクの着用、大声での会話の自粛など適切な感染防止策を徹底しましょう。
- ・ 街頭や飲食店での大量または長時間、深夜にわたる飲酒や飲酒しての行事の参加はなるべく控えましょう。
- ・ 必要に応じて、家族同士で過ぎしたりオンラインのイベントに参加するなどの新しい季節の行事の楽しみ方を検討しましょう。

感染リスクが高まる5つの場面

これまでの感染拡大の経験から感染リスクが高い行動や場面が明らかになり、感染は主にクラスターを介して拡大することが分かってきています。次の5つの場面に注意し、感染拡大を防止しましょう。

- ① 飲酒を伴う懇親会など
飲酒の影響で注意力が低下したり聴覚が鈍って大きな声になることや、回し飲みや箸の共有により感染リスクが高まります。
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
大人数や長時間の飲食、接待を伴う飲食などでは、短時間の飲食に比べて感染リスクが高まります。
- ③ マスクなしでの会話
マスクなしで近距離に会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染のリスクが高まります。車やバスで移動する際の際の内でも注意が必要です。
- ④ 狭い空間での共同生活
寮の部屋など狭い空間での共同生活は長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まります。
- ⑤ 居場所の切り替わり
仕事で休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わると気の緩みや環境の変化により感染リスクが高まります。

相談先に困ったときは

発熱などの症状がある場合、まずはかかりつけ医に電話でご相談ください。
かかりつけ医がなく相談先に困っている場合は、以下の相談先に電話でご相談ください。

- ・ 千葉県発熱相談コールセンター
(土日、祝日含む24時間対応)
☎0570-200-613
※12月5日(土) 午前8時まで
☎03-6747-8414
※12月5日(土) 午前8時以降
- ・ 芝山町保健センター
(平日 午前8時30分～午後5時15分)
☎77-1891

CONTENTS

◎ もくじ

- 2……新型コロナウイルス関係
- 8……保育所・幼稚園運動会
- 10……町からのお知らせ
 - ・ 年末年始の業務日程
 - ・ 千葉県災害義援金
 - ・ スマホ収納開始・山武郡市環境衛生組合決算・消防訓練
 - ・ 年金・カウントダウン花火中止・3歳児健診・風しん抗体検査および予防接種
 - ・ 学童クラブ・総務大臣表彰・入札結果
 - ・ 千葉県食品衛生大会・交通栄誉賞緑十字銅賞・議会臨時会・教育委員会委員就任
 - ・ 空き家関係
 - ・ マイナンバーカード

- 19……風を感じて No.122
- 20……しばやま日和
- 22……特集 この仕事知っていますか?
- 24……くらしの広場
- 28……今日は何の日?

12月の納期

国民健康保険税	6期
固定資産税	4期
後期高齢者医療保険料	6期
介護保険料	6期
※ 12月28日(月)までに納付しましょう	
納税は便利な口座振替で!	
口座振替の方は、残高の確認をお願いします	

December.2020

12

No.556
師走

「広報しばやま」は、現在新聞折込みにて配布しております。(当面の間実施予定)

これまででとこれから

新型コロナウイルスの発生から約1年。今回の特集では、今までに目にしたことのない光景や耳にしたことのない言葉が世の中に広がり、多くの人の生活が変わってしまったこの約1年を振り返ります。

―新型コロナウイルスの発生―

昨年12月頃、中国武漢市において原因不明のウイルス性肺炎の患者が相次いで発生し、1月に入ると日本でも新型コロナウイルス関連のニュースとして報道されるようになりました。しかし、この段階では世界的な大規模感染や国内での感染者が確認されておらず、多くの人が自分たちにはあまり関連のない他国のニュースといった認識を持っていました。

―国内で初の感染者を確認―

1月16日に国内で初の感染者が確認されて以降、武漢市からのチャーター便や横浜港に入港したクルーズ船でのクラスターなど、国内での感染者が増加したことで国民の危機感が徐々に高まってきました。1月30日に政府が立ち上げた新型コロナウイルス感染症対策本部では感染状況や今後の対応について協議され、芝山町においても2月

に設置した警戒本部、3月に設置した対策本部で今後の対応や感染対策などについての協議が行われました。

―緊急事態宣言の発令―

4月7日、新型コロナウイルスの感染が都市部で急速に拡大している事態を受け、政府は7都府県に「緊急事態宣言」を発令し、外出の自粛や店舗の休業要請などを呼びかけました。しかし、事態は収束せず4月15日には町内で初の感染者が確認されるなど、感染は都市部だけでなく全国各地へと拡大していき、このことから政府は「緊急事態宣言」の対象地域を全国へと拡大しました。

―社会経済活動の再興へ―

5月25日、約1カ月半ぶりに全国で緊急事態宣言が解除され、他県への移動やイベントの開催自粛なども段階的に緩和されていきましたが、長期間にわたる外出自粛や休業要請により

経済は大きな影響を受けました。多くの事業者は、感染防止策をしながら社会経済活動を活性化させるためさまざまな工夫をし、営業を再開させていきました。

また、国内における観光などの需要を喚起し、景気と経済を再興させることを目的としてGOTOキャンペーンなどが始まり、少しずつ社会経済活動が再興し始めました。

―新しい生活様式を習慣に―

新型コロナウイルスの拡大によるさまざまな行動制限は、私たちの暮らしに新たな生活スタイルを定着させるきっかけとなりました。

休日の過ごし方や働き方など今までの当たり前が大きく変化してきている今、日常の中さまざまな場面で一人一人が新しい生活様式を実践し、これからの時代の新しい「当たり前」を作っていくことが大切です。

📷 写真で振り返る町の記録



感染予防のため休校や分散登校となった小中学校



感染拡大防止のため閉鎖されたひこうきの丘



外出自粛などの影響で閑散としたはにわ道